



Vol.130
BINGO JOURNAL
教区報

メールアドレス
ホームページアドレス

paper@bingo.gr.jp
<http://bingo.gr.jp/>



親鸞聖人
750回大遠忌



～世のなか安穏なれ～



お寺の風景

境内に響く声

写真説明は13頁

Contents

◆ 教務所長着任挨拶

◆ 大遠忌ニュースフラッシュ

「本願寺展」「法然と親鸞」

◆ 視点 「現代お盆考」

◆ クローズアップ備後

「今、何を問い、何をするのか」

◆ ルポ 「岡山龍谷高等学校」

◆ 坊守探訪 備中里組 高運寺

◆ NEWS & 活動情報

寺族婦人会(若婦)研修、

勤式研修会、夏期布教大会他

◆ 予報・インフォメーション

同朋講座、お寺の子どものつどい他

《お願い》

『教区報』の編集にあたり、皆様のご意見や
ご感想、情報の提供をお待ちしています。教
区報専門委員会まで、ご一報ください。

☎ (084) 924-5759
fax (084) 931-9323

14

12

10

8

6

4

2

2

着任のご挨拶



備後教区教務所長
本願寺備後会館主管
新見教堂主管

みやかわこうせい
宮川宏生

慈光照護のもと、益々ご清祥にて、お念仏相続のこと慶賀に存じあげます。

このたび、板原頭水前教務所長には、緊急入院加療のため、教務所長退任のやむなきに至り7月1日付をもって、小職が備後教区教務所長・本願寺備後会館主管・新見教堂主管を拝命いたしました。

何分、浅学非才の身ではあり、教区経験も少なく、何かとご迷惑をおかけすることも多々あるかと思いますが、できる

だけ早く教区に馴染ませていただき、備後教区における宗務推進のため、精進努力して参りますので、何卒ご教導の程よろしくお願い申し上げます。

さて、今日、時代が大きく移り変わる中で、様々な社会的課題や問題が山積してきておりますが、お寺を取りまく環境も、人々の大都市への集中や、その一方で過疎問題、さらに若者の宗教離れ等々から大変厳しい時代を迎えています。

こうした中で、宗門では親鸞聖人七五〇回大遠忌を控え、混乱を深める時代に即応した3期12ヶ年に亘る、宗門長期振興計画が策定され、諸事業が展開されております。教区内の皆様方には諸事業を推進いたす上で、何かとお力添えをお願いする機会が増えてくることかと存じますが、何卒、宗門の護持発展のため、ご指導並びにご鞭撻を賜われますようお願い申しあげ、赴任のご挨拶にかえさせていただきます。

合掌

本願寺展

大遠忌
News flash

入場者数

75109人

4月18日(金)から5月25日(日)まで、広島県立美術館にて「本願寺展」が開催された。連日多くの人が訪れ、約一カ月間の開催期間中の入場者数は75109人。

組長さんを通してお願いした、教区内チケット販売総数は3533枚だった。

◀ 本願寺展が開催された広島県立美術館



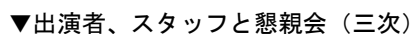
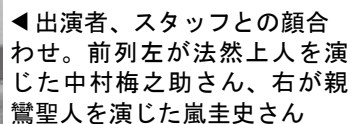
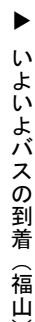
次期開催

10月4日(土)～11月16日(金)
会場 徳島城博物館

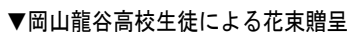
親鸞聖人750回大遠忌法要記念事業

イベントで盛り上がる大遠忌ムード

日時 6月17日(火)
会場 ふくやま芸術文化ホール
公演回数 リーデンローズ
入場者数 昼・夜 約2500名



▼開演を待つ会場内（福山リーデンローズ）



視

Vol <4>

点

現代お盆考

お盆参りが伝えるもの

「お盆がくる」と言われて、教区内の僧侶が真っ先に思い浮かべるのは、「今年もあの暑い日が来たか」。単なる夏という自然現象だけではない。お盆を前に各家庭を回る「盆参り」からくるイメージである。これとは別に「お盆」は日本人の生活に深く溶け込んだ仏教行事の一つである。その代表が「盆踊り」。学校や商店街での盆踊りの看板は見かけるが、お寺での盆踊りの点景はめつきり少なくなつた。もし、盆踊りの「寺離れ」がそのまま法座のお聴聞の数に反映しているとしたら、大人も子どもも輪になってしばし、浮き世の労苦を忘れて踊る楽しさのようなものが欠けているのではないか。そこで一部ではあるが、教区報専門委員が手分けして教区内の盆行事の情報を集めてみた。(文責・教区報専門委)

お盆の意識の低下

教区内で唯一都市圏をかかえる深津組(20カ寺)では100%が「お盆参り」をする。この傾向は教区全体でいえるようだ。地域によっては初盆だけという場所もある。お盆行事の中での法座はやはり

少ないようである。教区全体を集計していないので、明確な数字は出ないが、お盆期間中の13日から16日ぐらいに限定すると、30%に達しない可能性がある。

この原因は様々考

お寺は盆参りで多忙

えられるが、やはりお盆が単なるお墓参りや先祖のためだけだと受けとめられている傾向が強い。県北地方ではやはり、帰省した「お客さん」が中心で、家庭で過ごす家族が多いようである。また、お盆に併せて同窓会や成人式をする地域もあり、お寺の行事の知名度が低下していることも事実である。

こうした中でも、このお盆期間中にお寺とご縁を結んでもらうと、地道な努力を積み重ねている寺院もある。盆法座と盆踊りをセットにして伝統を受け継いでいる寺院もあるが、1組で1、2カ寺あるか、ないかの程度である。このほか「初盆法要」「暁天法座」(13日・15日の毎朝6時から1時間)「過去帳や一切経の虫干し」など、様々な工夫を凝らした法要や行事も見受けられる。

お盆は先祖供養か?

興味深いデータがある。広島から『茉莉花』という真宗向けの季刊誌を発行している仏教情報センター「コア」(広島市)が18年前の1990年、「お盆 100人に聞きました」というアンケート調査を行っている。その結果が面白い。100人中85人が「お墓(お寺を含む)参りをする」。この85人中80%の人が「先祖供養のため」と答えている。「供養」は別としてお盆は意識の上で先祖と深い関係がある。

ぼんはなあ

ぼんはうれしや

別れた人も

アリヤヨーホホイ

晴れたこの世へ ハァー

会いに来る

こんな盆踊りの歌があることから也容易に窺い知ることができる。

懐かしいひと夏の情景を

夏の風物詩でもある、あの懐かしいお寺での盆踊りが少なくなっているのは、やはり地縁の結びつきが薄れたからだだろうか。三次組の福善坊で戦後すぐ始められた盆



▲「いつか再び」との願いのもと幕を閉じた三次組福善坊の盆踊り

▼お寺の境内で昔の盆踊り。御調西組法泉寺



盆踊りも寺離れの傾向か

踊り行事が昨年で幕を閉じた。最初は8月15日と16日の二日間におたつて行われ300人前後がお寺の境内で賑わった。しかし、テレビをはじめレジャーなどの多様化で中断されていたのを、15年前に再開した。14日の夜、本堂で全員がお

勤めをしたあと、踊りを楽しみ花火20発余りが打ち上げられた。浴衣姿に団扇、花火に夜店、ゲームなどで夜遅くまで賑わった。担当した総代の一人は「若い人の中で、盆踊りがお寺でなければいけないという人が少なくなった」と寂し

そうだったが、福藤朴子住職は「いつか再びお寺で盆踊りが行われるのを願っています」と。

逆にお寺での盆踊りを引き止めた寺院もある。御調西組法泉寺である。ここでは14日におよそ300人ぐらいが集まるという。行事はお寺が主催ではなく、地域の夏まつり行事である。それでも小島照行住職はお寺にこだわった。盆法座にあわせお勤めのあと、昔からの盆踊りが行われる。夜店も出店してあの懐かしいひと夏の情景が戻るといふ。ただ場所によってお寺とは関係のない地域が主催する夏まつりのイベントもさびれてきているという。

寺院機能復興のチャンス

近年、公民館のシステムが変化しつつある。行政の経費削減によるものだろうが、「自治復興」という言葉が市民権を得てきそう。その意味からいいうと、かつて地域の公民館であった寺院機能の復権のチャンスと受けとめることもできよう。日本人の生活に深く根を下ろした仏教行事であるお盆のあり方を考えることは、そのま



◆ 世羅組浄楽寺の盆踊りより

▼地域の自治会などで行われる盆踊りの看板



ま今後のお寺をめぐる地縁の結びつきと教化活動の原点を垣間見ることもできるのではなかろうか。

今、何を問い、何をするのか

現在、お寺を取り巻く問題は様々である。先日、某大手新聞に「お寺存続の危機」という特集記事が載った。過疎過密の波が押し寄せ、山間部から都市部への人口流出が止まらない。それに伴い、過疎地寺院の存続が危ぶまれているという。ご門徒の送迎、地域老人福祉への参入など、各寺院は努力を続けるが、なかなか実を結ばない。さらには「家」の宗教から「個」の宗教へと人々の意識の変化も拍車をかける。一方、いち早く「個」への布教に着目し、布線拡大に成功したかに見えた、新興、新々宗教各団体も、今や現状は頭

打ちだともらず。「自死(自殺)」者増加が深刻な社会問題となり、無差別、無動機殺人が後を絶たない現代の日本。寺離れ、宗教離れに歯止めをかけることは出来るのか？我々僧侶は今の世に何を問い、また何に伝えていくべきなのか？そんな折、山間部のお寺で長きに亘って寺を護り、子ども会を続けられている、ひとりの女性住職が居られると聞いて取材に伺った。三原市久井町の湧池山龍見寺・龍見地紀子住職である。

(レポーター 松井一昭専門委)

継続こそ力なり 大人も子どもも手を合わせ

御調西 龍見寺住職

たつみじのりこ

龍見地紀子さん



Close-Up-Bingo
◆クローズアップ備後



子どもたちがやってくる

去る5月24日、小雨の降る中、突然にお邪魔した我々を温かく迎えて下さったのは、想像とは違い、意外なほど小柄で穏やかな方であった。

当日は宗祖降誕会に続いて、恒例の子どもの集いがあるという。この集いは数十年の歴史があり、

現住職が若坊守として入寺されて後、ご主人を亡くされ、現職を引き継いでからも二十数年に渡って続けられて来た。

当日の主な行事内容は次の様だった。

午前10時 宗祖降誕会 朝席
午後1時 同 日中席
午後2時 子どもの集い

(山本耕嗣先生・紙芝居)

午後のお勤めが終わると、田植えが終わったばかりの青々とした道をぬけて、子どもたちがやって来た。雨のそぼ降る中だが、どの顔にも満面の笑みが浮かぶ。皆、この日を楽しみにしていた様子だ。大人たちも優しい目で子どもたちを迎える。かつては、どこのお寺でも見られた光景である。

大人への法話に続いて、子どもたちへ紙芝居をしてくださった、山本先生Ⅱ写真。「ハイテクおもちゃが何でも手に入る時代。逆に子どもたちが私の紙芝居を喜んでくれるんです。紙芝居を通じてメッセージを伝え、彼らと触れ合うことができるんですよ」とのことだった。

紙芝居の後は、皆で「らいはい



◀ ご褒美を受け取る子どもら



▲ 山本先生の紙芝居に見入る子どもたち

のうた」のおつとめ。取材スタッフが気になるのか、時折チラチラとこちらを見ながらも大きな声を張り上げて、ニコニコ顔の子どもたち。

紀子住職は「前住職が亡くなってからは、ただ、寺を護ることに必死でした。お作法もなっていない私のお勤め…お恥ずかしいことです」と。

しかし、子どもも大人も一緒に手を合わせ「南無阿弥陀仏」をいただく。都市部では見られなくなった、作法も世代も超えたお念仏を喜ぶ姿がここにはある。

たとえ少人数でも始める

この日の日程を終了し、子どもらを見送った住職が語る。長い間、一人で続けるには大変なご苦労があったはず。

「確かに、つらい時もありました。でも、仏婦をはじめ多くの方々に助けていただき、お育てをいただきました。そして今があります。」と。

「皆さんに足を運んで、寺に親しんでいただく良い機会だと思っています。親子そろって手を合わせる、そのきっかけになってほし

いですね」と子ども会の熱き思いを語る。

本願寺は現在、キッズサンガをはじめ、子どもたちに寺に親しんでもらおうという呼びかけをしています。しかし、現実には、やり方がわからない、自信がない…などの理由で、開催に踏み切れないお寺も多い。

「たとえ少人数でも、とにかく何か始めてみることですね。私自身も在家出身で、最初は手探りでした。でも、形はどうあれ、始めてみれば様々なご縁に合い、助けてくださる方も少しずつ増えて。今では、かつて子ども会に来てくれていた人が大人になり、また、その子どもの手を引いて寺を訪ねてくれる…そういう時は、続けていて良かったと思いますね」と継続の大切さを強調する。

継承されるお念仏の心

ふと、本堂の隅にあったオルガンが目にとまった。住職がそれを見ながら、「古びたオルガンでしょう。こんな骨董品、今では見当たらない。うちは何でも古いものばかり」と、笑う。その姿が印象的であった。

山あいには響く子どもらの声



▲ 龍見寺が所在する坂井原地区

ルポ



RYUKOKU OKAYAMA HIGH SCHOOL 岡山龍谷高等学校

青少年犯罪が増加し、モラルの低下が叫ばれる昨今、教育現場の置かれている状況は厳しい。備後教区唯一の宗門関係学校・淳和学園岡山龍谷高等学校（以下「岡山龍谷高校」と）はどうか。近況を2回にわたって追った。（レポーター 苅屋光影・山下瑞円専門委）

教区唯一の宗門校を追う

岡山龍谷高等学校

Part. I



古いものから新しいものへの「つながり」が失われつつある時代。古いものは「悪」とさえ思われがちに現在。確かに寺を取り巻く問題は多々ある。過疎過密、宗教離れ、後継者不足……。そのどれもが、「お寺存続の危機」に直接結びつくものである。

ここ龍見寺においても後継者不在は深刻な問題だという。しかし、我々はいかにその点に触れることなく、お礼を述べ立ち上がった。お聞きする必要がない気がしたからである。

古いものに囲まれ、田畑に、山々

に囲まれ、ひたすらお念仏の心を継承されてきた、紀子住職。そして、力を合わせ支えて来られたご門徒衆。かつてそれは、本願寺を支えてきたパワーであった。

温故知新の心を新たに

時は移ろい、慌ただしい流れの中、今、本願寺は百万人規模を提唱して、本格的な都市開教に取り組み始めた。しかし、一方で過疎地寺院への対応は見落とされてはいないだろうか？

「うちのお寺のお参りは多いほうでしょうか？」「法座の雰囲気

はどうだったですか？」

龍見寺本堂で、総代さんらしき男性が、しきりに我々に質問にいられていた。この熱意、そして子どもたちの笑顔がある限り、その法灯は脈々と受け継がれていくことだろう。

山門を出て、ふり返ったとき、「温故知新」という言葉が私の脳裏に浮かんだ。これからの寺の在り方、僧侶の取り組み方……その答



▼龍見寺本堂



えをいただいた気がした。我々は深く合掌をして、龍見寺をあとにした。



▲音楽法要に参加した生徒たち

など教師と生徒が実際に京都の本願寺に参拝し、御堂に座り、手を合わせ機会を増やすことによって先生と生徒が本願寺を身近に感じるようになった。更に昨年度から「宗祖親鸞聖人降誕会」音楽法要に数名の先生と生徒が参加している。二日間の日程で前日の昼から京都に入り、歌唱指導など練習を行い、次の日の降誕会の音楽法要を迎える。その時の生徒の感想を聞いてみた。

生徒 それぞれ自分が担当しているパートを力一杯歌っていて、なおかつ全員が上手だったので私は圧倒されました。しかし学校の音楽の授業や宗教の行事とは違う雰囲気の中で歌うのはとても新鮮で楽しかったです。

委員 本願寺の降誕会に参加して何か心に残ったことはありますか？
生徒 前日にみんなではじめて練習して、次の日が音楽法要でした。そのために休憩時間が短く、練習の回数も少なかったので大変でした。何よりも京都は暑かったです。

委員 2日間の日程でしたが、何かつらかったことはありますか？
生徒 全国の宗門校の生徒とたくさん出会えたり、仲良く会話をしたり、楽しく交流することができました。
委員 参加してみて、何が楽しかったですか？
生徒 全国の宗門校の生徒とたくさん出会えたり、仲良く会話をしたり、楽しく交流することができました。

共に手を合わす中で

これまで淳和女子高校・黎明高校・岡山龍谷高校と宗教教育の充実を目指してきた。具体的には宗教の授業や宗教行事(花まつり・報恩講・涅槃会など)、入学式や卒業式など学校をあげて諸先生方

仲間と楽しく交流

が工夫を凝らして宗門校としての今日を迎えている。ご本山である龍谷山本願寺の「龍谷」の名前を頂いた龍谷総合学園の宗門校として、新たに本願寺での行事に積極的に参加している。

委員 参加してみて、何が楽しかったですか？
生徒 全国の宗門校の生徒とたくさん出会えたり、仲良く会話をしたり、楽しく交流することができました。



▼5月に行われる「花まつり」

- ◆所在地：岡山県笠岡市笠岡。JR「笠岡駅」下車、北へ700m
- ◆現在の生徒数は約500名。1年生が約200名、2年生が約150名、3年生が約150名。男女の比率は男子生徒が約6割、女子生徒が約4割。
- ◆学科・コース：普通科特別進学、普通科進学教養(2年次より文理系、保育・初等教育系、看護・福祉系、栄養・家政系、芸術・スポーツ系の5つの系に分かれる)、生活科、情報科。

≡ 情報

坊守探訪 Vol.22

とにかくお寺でお聴聞を

工夫と頑張りで

今回お訪ねしたのは、山陽自動車道、鴨方インターから6^{キロ}程倉敷方面に走った玉島にある備中里組高運寺・塩田洋子坊守さんです。爽やかな新緑の中、市街地を走っていると車一台やっと通れるような細い坂の途中に高運寺と書かれた鐘楼が見えてきました。駐車場に車を入れてウロウロしていると、ウーウーと消防車の音が聞こえてきました。住職さんが出てこられて、「火事ですか。火事は怖いですがからね。実は高運寺は200年程前は成羽にあったんですが、火災に遭ってこの地へ移転した、という歴史があるものですから、つついドキッします」とお話下さいながら案内して下さいました。(聞き手〓立神多恵香委員、写真〓山下瑞円委員)

備中里組 高運寺
しおたようこ
塩田洋子 坊守さん



中央仏教学院で学んで

立神多恵香委員 先程住職さんから伺ったのですが、以前は他の場所にお寺があつたんですね。

塩田洋子坊守 そのようですね。以前は高運寺は、「高雲寺」と書いていたそうですが、火事後、色んなものを筏に乗せて運んで来たという事で、それから「雲」の字が「運」に変わったと、聞いています。

委員 そうなんですか。本当に火事は気をつけないといけませんね。ところで、早速お伺いします

が、坊守さんはこちらにいられて何年くらいですか。

坊守 20年くらいです。

委員 住職さんとの出会いはどうだったんですか。

坊守 それは秘密ですが、恋愛で在家からきました。

委員 そうですか。不安は無かったですか。

坊守 もちろん不安はありましたが、親戚のお寺の方から「中央仏教学院へ行ったらどうか」と勧められて、結婚してすぐに1年間勉強させてもらいました。学院で学んだ事がこちらに帰ってきて、

そのまま全て当てはまるわけではないけど、私にとつてはかけがえない1年でしたね。

お参りをご縁として

委員 そうですか。実は私も中央仏教学院卒です。では得度されて法務にも出られるんですか。

坊守 はい。最初はお彼岸やお盆のお参りでしたが、今ではそれ以外にも出来る時には時々お参りさせてもらっています。しんどいなって思う事もありましたけど、良い事もあったんですよ。門徒さんの家にお参りしていると電話が

かかってきてもすぐに何処の家か分かるし、住職さんには聞きにくいけど、って色んな話をしてくれるし、早くから親近感をもって門徒さんとお付き合いができましたね。

声をかけることの大切さ

委員 そうですか。同じ坊守としてそれは理想ですが、なかなか真似は出来そうもありませんね。ところで、こちらのお寺での活動としてはどんなものがありますか。

坊守 春、秋のお彼岸と盆法



▲高運寺本堂

座、12月の報恩講と一時期止めていた永代経を5年前から再開しました。それと、2ヶ月に1回の勉強会。ささやかながら10年前から婦人会活動もしています。婦人会は実際活動しているのは、全体の半分の人数ですが、日帰り旅行に行ったり、去年は玉島の町おこしのイベントに作られた「あんどん」を真似して、法語や挿絵入り



ご門徒さんと一緒にの充実感

のあんどんを60個程手作りしたんです。それを盆法座の時に庭や境内に飾って好評でした。他には、ダーナ活動として本堂や庭の掃除を手伝ってもらっています。以前は有志の方が来て下さっていたんですけど、高齢になられて出来なくなつたので、思い切つて婦人会に声をかけてみたら、案外すんなりとお手伝いだけしました。

委員 なかなか声をかける事って難しいけど大切ですよ。

坊守 そうですね。うちは住職がこの行事には何人お参りが欲しい。というひとすら電話をかけます。大変だけど声をかけた人が参つて来てくれると嬉しいですね。

報恩講にはくじ引きを

委員 沢山お参りになるんですね。

坊守 わー、大変。私の苦手とすることです。でもこれからはお参りしてもらうのを待っているだけでは駄目な時代ですね。お寺もいろいろ工夫したり考えたりしないといけませんね。

坊守 うちの報恩講には130人ほどのお参りがあります。小さい本堂なので襖をはずしたりしても一

は門徒さんの花屋さんからのお花や手作りの物なんかを持ち寄つて、それにお菓子を添えたりして袋にまとめた物とお斎を人数分用意します。それを帰る時にこづけるんです。

住職と二人で温泉に

委員 全員にお土産があると嬉しいですね。いろいろ工夫して頑張つて居られますが、慣れない所で大変だった事、反対に嬉しい事を教えて下さい。

坊守 何とかやっついていけるだろう。くらいの軽い気持ちで入って

来て、それは色んな事がありました。でも、元来打たれ強いのか、不思議と耐えられない。と思った事はないですね。声をかけた人がお参りに来てくれると嬉しいし、門徒さんと一緒に歩んでるっていう充実感が、快感ですね。

委員 最後にこれからの目標について教えて下さい。

坊守 今年から念願だった門信徒会の本山一泊研修旅行を開催します。色んなお寺の事を絶えることなくしっかりと次の代に伝えて行けるか。と考えると不安になります。後をまかせたら住職と二人ゆつくりと温泉めぐりするのが夢ですね。

〈取材を終えて〉

大きな時代の流れの中で、否応なくお寺のありようも変わって行かなければならない昨今。そんな時ついネガティブになつてしまいがちですが、洋子坊守さんのポジティブなパワーを頂いたようなひとときでした。

本号から紙面がグッと広くなりたっぷり届けられる様になりました。次号もお楽しみに。

& 活動情報

News

基推
第3部会

僧侶と門信徒の
共同参画

キッズサンガへの取り組み

【寺婦】5月9日、寺族婦人会連盟では比婆組妙延寺にて、若婦人研修会を開催した。小島照行キッズサンガ委員長より、キッズサンガの取り組みについて意見交換等が行われた。

▼妙延寺本堂にて



夏の子ども会に向けて

【少年】7月17日、少年連盟では、夏の子ども会、サマースクールに向けて、岡本由姫美先生(府中市



▲岡本由姫美先生

▲楽しい研修でした。真剣です。



まさみ園々長)をお迎えし「クラフト指導、ゲーム指導」を行った。終了後、平成20年度総会が開催された。



▶くるくるレイン棒。回すととてもきれいで癒されます。

基推
第4部会

伝道・広報

精進料理に学ぶ

【勤武】6月25日、本願寺備後会館において、教区勤式研修会が開催された。本年度は「精進料理」について「単なる料理の形態としてではなく、本来の意味を学び仏教徒として『精進料理』を今一度考える。」という

思いの元に、本山御用達として御正忌法要をはじめ、各行事の「お齋」を請け負う「矢尾治」専務取締役・上田倫正さんを講師に迎え行われたII写真。その中で上田さ



教区月報

5月		6月	
7日	ブロック保育連盟連絡協議会(四州 8日まで)	2日	前進座南部実行委員会
9日	寺婦若婦人研修会 (比婆組 妙延寺)	3日	寺婦総会・研修会
11日	会館常例法座 (佐々木至成師)	4日	基推総会
12日	組長会、布教団役員会	5日	賦課基準調整小委員会
14日	寺婦役員引継ぎ会	6日	門推進連絡協議会
16日	ビハーラ備後役員会	9日	キッズサンガ推進委員会 (四州 7日まで)
17日	若婦専門委員会		
21日	勤式練習会		
22日	基推常任委員会		
23日	仏婦役員会		
26日	同朋三者懇話会		
27日	門徒総代会世話人会		
29日	常備会		
30日	同宗連特別研修会		

んは「精進料理とは、お寺のお寺によるお寺の為の料理です」と。精進料理は「有情」の物と葱類を避け、昆布を主に汁にして、五味・五色・五方を凝らして季節にあった味付けをする。お斎の「斎」という字は、八戒斎や精進潔斎のというように様に、自ら進んで慎む事をいうのあろう。

満堂の中、節談説教を聞く

【布教団】6月20日、備後教区布教団主催の夏期布教大会が、本願寺備後会館を会場に開催された。今回は、昨今宗門内で再び注目されつつある節談説教をテーマに、本講師に富山県真宗大谷派善行寺住職である茂利真正先生をお迎えし、その他教区内の布教団員四名が出講した。写真。

茂利先生は、「信疑決判―弘願直入と三願転入―」と題し、本願寺派では希少となった節談を交えながらお取次ぎされ、節談が持つ独特の音声と節回しに、参拝者が真剣に聴聞されている姿が印象に残った。今回は約120名もの参詣をいただき、最後まで参拝者のお念仏が堂内に響き渡っていた。

聞法も大切だが宗祖のご命日、葬儀のお斎もしつかり慎んでゆきたいものである。後半からは実演を見ながらの講習となり、一時間かけたプロのわざを見せていただいた。ゴマ豆腐・キウリとあげの酢みそ和えの試食もあり有意義な研修会となった。



布教団出講者は次の通り。

○朝 席

川上順之団員(神石組法泉寺)

「私の壁を貫く光」

藤井義英団員(比婆組西教寺)

「弥陀の願船」

○昼 席

千葉隆誓団員(芦田組光明寺)

「如来を聞く」

那須英信団員(沼隈南組善正寺)

「願力を聞く」

お寺の風景



境内に響く声

境内にはいつも、ボールとバッドが片隅におかれている。代々受け継がれてきた野球道具である。

ここは、県内で最も人口の少ない地域といわれた、旧佐伯郡吉和村(現在は廿日市市吉和)にある安芸教区佐伯奥組専立寺(能島華蓮住職)。

昭和38年の豪雪が一気に人口流出に拍車をかけた。過疎の波は止まらず、来年から小学校と中学校が同じ校舎に……。

子どもの数は少ないが、境内には子どもの声が響き渡る。子どもたちは、自分たちが楽しんで遊べる場所を探す天才である。

就学や就職で都会に出ても、盆踊り等には顔を出す。やっぱりお寺は故郷である。

(文責・教区報専門委)

8日	地方都市法要委員会(安芸)中・四国議長・所長会同
7日	保育連盟補任式・研修会 基推研修旅行 (韓国 9日まで)
5日	お寺で子どもセミナー (鴨川北組照専寺)
4日	ビハーラ備後総会・公開講座
3日	法式・法務専門委員会 基推第4部会
1日	ブロック少年連盟指導者研修会(安芸 2日まで)
7月	
29日	演(三次市文化会館)
27日	前進黨「法然と親鸞」公演
25日	賦課基準調整委員会
21日	春秋勤式研修会 (備後 22日まで)
20日	ブロック仏青連絡協議会
19日	夏期布教大会
17日	布教団総会・研修会
13日	演(福山リーデンローズ)
11日	勤式練習会
10日	前進黨「法然と親鸞」公演
10日	門徒推進黨世話人会
11日	会館常例法座 (平山義文師)

予報ーインフォメーション

●会館常例法座並びに青年布教使大会

会館常例法座に4名の青年布教使による布教大会を左記の通り併催いたします。皆様お誘い合わせの上、どうぞお参り下さい。



日時 8月11日(月)

朝席10時
昼席1時

会場 本願寺備後会館

講師 山下瑞円師 (奥組浄福寺)
佐々木弘海師 (鴨川北組照専寺)
佐藤知水師 (中組光栄寺)
竹政信至師 (鴨川組正覚寺)

●同朋講座 「平和と人権」

メディアや社会そのものから厳しいバッシングを受けながら、平和や人権樹立への国際的活動を進めておられる高遠さんにおいでいただきます。



日時 8月21日(木)

会場 本願寺備後会館
講師 高遠菜穂子さん
(イラク支援ボランティア)

講題 「命に国境はない」イラクで非暴力は実現するか？」

●平和のつどい

ー全戦争犠牲者を偲んでー
第13回大会

日時 10月28日(日)

午後1時

講師 河野義行さん

(松本サリン事件被害者)

テーマ 「ー全戦争犠牲者を偲んでー平和を築く道」

ー現代社会の危機と希望
松本サリン事件被害者河野義行さんに学ぶー

●僧侶研修会

日時 平成21年2月20日(金)

午後12時30分

講師 今井雅晴先生

(筑波大学名誉教授)

テーマ 「親鸞聖人の生活と信仰ー越後時代と関東時代ー」



会館常例法座出講者

8月 青年布教使大会

山下瑞円師

(奥組 浄福寺)

佐々木弘海師

(鴨川北組照専寺)

佐藤知水師

(中組 光栄寺)

竹政信至師

(鴨川組 正覚寺)

部 晃尊師

(三次組 円勝寺)

足利法水師

(沼隈南組法輪寺)

箱田義信師

(沼隈南組西光寺)

長谷川憲章師

(三谿組 善徳寺)

11日 (備後 10日まで)
会館常例法座
(季平博昭和師)

11日 勤式練習会

16日 サポーター連絡協議会

17日 少年連盟指導者研修会

18日 基推常任委員会、組長会

22日 教区報専門委員会

26日 まことの保育大学講座

(四州 27日まで)

心に響く 言葉。

人は一人で死んでいくが
人は一人では生きていけない

8月

- 11日 会館常例法座並びに青年布教使大会
- 19日 お寺の子どものつどい
(高知県 20日まで)
- 21日 同朋講座並びに基推研修会
- 27日 連区布教使研修会
(安芸 28日まで)
- 31日 仏壮夏期研修会(世羅組)

9月

- 1日 ビハーラ研修・協議会
- 11日 会館常例法座(薮 晃尊 師)
- 18日 勤式練習会
- 26日 環境問題学習会
- 27日 連区門推研修協議会
(四州 28日まで)
- 29日 同朋三者懇話会(広島別院)

10月

- 1日 連区青年布教使研修会
(山陰 2日まで)
- 3日 連研のための研究会
(備後・4日まで)
- 5日 特別布教大会
(三谿組立泉寺)
- 9日 中・四国地区仏婦大会(山口)
- 10日 秋期勤式研修会
- 11日 会館常例法座(足利法水師)
- 16日 仏婦・寺婦基幹運動研修会
- 18日 ブロック真宗青年のつどい
(備後 19日まで)
- 20日 教区会本山参拝(21日まで)
- 22日 勤式練習会
- 28日 平和のつどい
- 30日 ブロック講社研修会
(備後 31日まで)



●お寺の子どものつどい

お寺の子どもを対象に「お寺の子どもの集い」を開催いたします。本願寺備後会館で研修後、高知県に向かいます。吉野川でのラフティングや大歩危、小歩危への観光を計画しています。お申込みをお待ちしています。

日時 8月19日(火) ～ 20日(水)

会場 本願寺備後会館

高知県吉野川他

対象 教区内のお寺の子ども

【小学校3年生～高校3年生】



三次組 源光寺
岸田ミキエさん

「子どもの頃には、意味はわかりませんでしたでしたが領解文を覚えてました」とにこやかに話をしてくださった岸田さんは仏教婦人会会長をされ、以前は教区の常任委員もつとめられた。三次市作木町に生まれ、子どもの頃、母に連れられてお寺によく参っておられた。お父さんは田畑を耕し、外から帰ったら手を洗って勤行をされていた。ご法義な家庭に育ち、結婚式は仏前結婚式でした。若い人に“仏縁を”と頑張っておられる。

得度許可

おめでとう
ございます

[敬称略]

鴨川北組 眞光寺

古孝 美乃梨 (優美)

沼隈南組 南泉坊

岡部 親吾 (親吾)

三谿組 立泉寺

一條 史織 (慧心)

三谿組 法専寺

加藤 親子 (浄法)

世羅組 教専寺

上田 由実子 (実景)

世羅組 教専寺

岸 順子 (沙羅)

世羅組 教専寺

南浦 美加 (央果)

(平成20年2月27日付)

沼隈南組 光照寺

季平 奈百 (祐百)

芦田組 西圓寺

山名 弥子 (顕弥)

世羅組 正満寺

島津 直 (惠帰)

(平成20年3月15日付)

教師授与

おめでとう
ございます

[敬称略]

奥組 本教寺

金藤 恵幸 (勝傳)

沼隈西組 正圓寺

石川 知全 (知全)

神石組 泉正寺

柏原 龍彌 (龍彌)

(平成20年3月30日付)

深津組 崇興寺

枝廣 慶樹 (慶樹)

(平成20年4月18日付)

会館休館日のお知らせ
8月12日(火)・16日(土)

本願寺備後会館夏期休館日をお知らせいたします

慶弔

お悔やみ申
上げます

[敬称略]

御調束組 無量寺

前坊守 深水ミサ子

(5月29日寂)

深津組 法真寺

住職 生駄 浩蔵

(6月10日寂)

鴨川組 浄光寺

前住職 小林 憲瑛

(6月11日寂)

沼隈南組 南光坊

前坊守 季平 充子

(6月30日寂)

鴨川組 金蔵坊

前坊守 渡邊 良子

(7月6日寂)

香典返礼

ありがとう
ございます三谿組 照善坊様
深津組 法真寺様

より香典返礼を頂きました。

編集後記



ここ数年、山にあるお墓を移動する人が多く墓参りで山を歩く機会が増えました▽そこで色々な人と話したり、何度も歩いてみると気づかされるのがいくつかあります。山に生えている樹や花の種類・分布がここ数年で微妙に変わってきているという事がその一つです▽日常生活では分りにくい温暖化の影響が身近なところまで来ているという事もですが、それ以上にどこに行っても雑木が伸び、倒木がそのまま放置されている等、想像以上に山が荒れている事に愕然とさせられます▽今更ながら私達の自然をとりまく環境は、温暖化だけではなく大きく変わってしまったのだと感じざるを得ません▽目先の利益追求のためでなく昔の人が子や孫のために、手間ひまかけて山を大事にされてこられたことを現代も忘れずにいたいと思う今日この頃です。

(K F)